

# 国会会議録にみられる〈ら入れ言葉〉の 使用実態について

(『言語の研究』5号)  
2019年7月)

浅川 哲也

はじめに

浅川(2016)では、動詞・可能動詞・ら抜き言葉などの後に助動詞「れる・れるる」が過剰に接続する表現形式に〈れるる言葉〉という名称を付し、インターネット上の検索エンジンや、複数のコーパスの検索機能を使用して〈れるる言葉〉の用例調査をした。その結果、ら抜き言葉から語尾の「れる」が分出され、「れる」が可能動詞のみならず、ら抜き言葉や、いわゆる「れ足す言葉」にも接続するようになっており、〈れるる・—eれる〉形式の〈れるる言葉〉が発生していること、また、可能動詞・ら抜き言葉・れ足す言葉・〈れるる言葉〉に可能の意味以外に自発・受身・尊敬の意味用法の使用例が発生していることを明らかにした。

次に挙げる用例(1)はら抜き言葉の受身用法、用例(2)はら抜き言葉の尊敬用法、用例(3)は〈れるる言葉〉の受身用法、用例(4)は〈れるる言葉〉の尊敬用法の例である。

つまり、可能動詞・ら抜き言葉・れ足す言葉・〈れるる言葉〉は、現代日本語においては、可能専用の表現形式ではないのである。

- (1) 農林水産関係3, 医療関係1の合計38機関が、それぞれ定められた区分に従って輸出検査を行っている。(OW1X\_00340・通商白書・通商産業省大蔵省印刷局・1978)
- (2) 芙蓉先生は日本各地はもとより世界各国で書画展を開催されています。講演会で日本の危機を切実に訴えてました。(グーグル・Angel Flower・2013.9.22)
- (3) 十九願で勧められている修善は、無上仏にむかって力いっぱいする善だから、純粋な心が問われます。(グーグル・親鸞会を脱会した人/したい人へ・2013.8.4)
- (4) 乳がん、治療と仕事の両立に悩まれている方へ(グーグル・乳がん体験者のためのコミュニティサイトCheer Womanスタッフブログ・2016.6.7)

浅川(2017)では、インターネット上で公開されているコーパスにおいて、五段活用動詞未然形・可能動詞・ら抜き言葉に「られる」が接続したり、非五段活用動詞の未然形に「られる・られられる」が接続したりするなど、形態的に「ら」が過剰に使用されているようにみえる用例のあることを指摘し、規範的な文法から逸脱したこのような用法に〈ら入れ言葉〉という名称を付した。<sup>(2)</sup>

浅川 (2018) において、『国語研日本語ウェブコーパス (NWJC)<sup>(3)</sup>』(以下、『ウェブコーパス』)を資料として調査したところ、〈ら入れ言葉〉は可能な意味のみならず、自発・受身・尊敬の用法すべてにわたってその使用例が確認できた。『ウェブコーパス』での用例(5)～(7)は受身の意味であり、(8)(9)は尊敬の意味の用例である。〈れるる言葉〉と同様に、〈ら入れ言葉〉も可能な意味専用の表現形式ではなく、受身・尊敬の意味も表わすのである。

- (5) 順番がきて、『きなこちゃん♪どうぞ^^』ってお姉さんから呼ばれると...床に這いつくばって石になる。。爆 (\*kinakinablog\*, 2012年10月20日)
- (6) やっぱり、人にもよるけど、転職って、ある種の裏切りのように取られるのかなと思った。(ロベログ、2008年4月25日)
- (7) 感動ものに弱いのか 動物ものに弱いのか解らないですが、泣き顔を見られるのが嫌だったんですかね?(笑) (ジャスタウェイの日記☆、2008年3月9日)
- (8) 面接に来られる方などにお渡ししている資料にも書いているのですが、…(転職のまぐまぐ!、2008年10月9日)
- (9) 逆に、駅周辺のマンションにお住まいの方たちは、転勤などで来られた人も多く、…(みんなのQ&A・滋賀 草津の情報をおしえてください、2005年2月17日)

本稿は、時代が西暦2000年代に限定され、文体上で俗語の使用が顕著なコーパスである『ウェブコーパス』とは異なり、1947年から現在まで約70年間にわたる資料の蓄積があり、また、比較的改まった場面での話し言葉が使用されると考えられる国会議事録のコーパスである『国会会議録検索システム<sup>(4)</sup>』(以下、『国会会議録』)を用いて、『国会会議録』上での〈ら入れ言葉〉の使用実態を明らかにし、〈ら入れ言葉〉の発生についての形態的な要因について考察することを目的とする。

用例は、『国会会議録』の第1回国会(昭和22年・1947年)から、第198回通常国会(平成31年・2019年3月現在)までの衆議院・参議院およびすべての委員会を検索対象として、「簡単検索」の「検索語指定」(以下、簡単検索)によって抽出したものである(2019年3月現在)。検索によって抽出された用例は、議事録原本のPDF画像で当該例を確認し、テキストデータの当該箇所に入りがある場合は用例数から除いた。用例を挙げるにあたり、引用文末の( )内に、発言者氏名、国会会期回数、衆参の別、本会議・委員会の別、会議録の号数、年月日を示した。引用例文中の下線はすべて筆者によるものである。

## 1、『国会会議録』の用例の性質—〈ら入れ言葉〉は実在するのか—

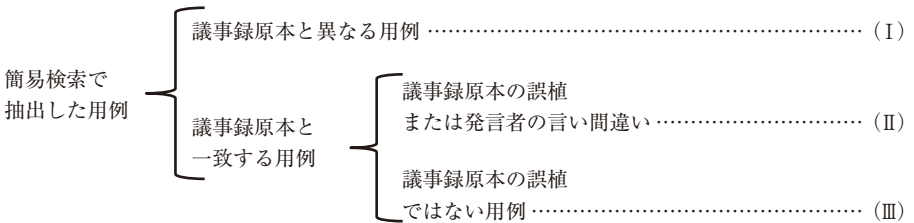
『国会会議録』のテキストデータには、国会議事録原本と一致しない誤りのあることは夙に指摘されている<sup>(5)</sup>。国会での発言者の音声言語が第一次的な資料といえるが、発言は速記者によって速記され、速記録から文字起こしされたものが議事録の原稿となる<sup>(6)</sup>。また、『国会会議録』のテ

キストデータは、第1回から第144回（平成10年・1998年）までは紙ベースの議事録をOCR処理したものであり、また、第145回以降の議事録も録音媒体から文字化する作業が介在しているので、『国会会議録』のテキストデータは第一次資料の音声言語からみると離れた段階にある（浅川2019）。

次例（10）は、「られられ」を検索語として検索されたテキストデータのひとつであるが、下線部の当該箇所を国会議事録原本のPDFで確認してみると、「抑えられ\」（原文は縦書き）と踊り字が表記で使用されており、用例としては実は「抑えられ抑えられ」であった。

（10）これが証人に呼ばれて来て、そうして盛んに反動的な、そうして含みのある質問で抑えられられ自分がそういうことではないと答えようとしたが、結局こういうことに耐え切れなくて自殺した。（細川嘉六・10 - 参 - 在外同胞引揚問題に関す… - 閉6号 昭和26年08月03日）

『国会会議録』の簡単検索で抽出された用例と、議事録原本との関係を整理してみると【図1】のとおりである。



【図1 『国会会議録』で抽出した用例の分類】

（I）は、用例（10）のような例であり、目的の用例数から除外されるものである。（II）は、簡易検索の抽出結果と国会議事録原本とが一致しているが、国会議事録原本の明らかな誤植、または、発言者の言い間違いが議事録に活字化された例のことである<sup>(7)</sup>。発言者の言い間違い（ミスタイク）と、規範から逸脱した「誤用」（エラー）とは、テキスト上に存在するという点においては両者に本質的な相違はなく、これを明確に区別することは困難である。

（III）が本稿で検討対象としている用例を含むものである。（III）は国会会議録原本にテキストとして存在する用例であり、また、異なる複数の発言者の間に同種の用例が観察されるのであれば、その用例は単なるエラーではなく、国会議事録のテキスト上に現に存在する言語の表現形式のひとつであると考えられる。

助動詞「れる・られる」の規範的な用例の膨大な総数からみれば、〈ら入れ言葉〉は稀少例というべき用例であるが、〈ら入れ言葉〉は『ウェブコーパス』など他のコーパス上においても同様の用例が検索されるので、言語変化の現象のひとつとして実在するものと考えられる。

## 2, 五段活用動詞および五段活用動詞の下一段化動詞（可能動詞）

五段活用動詞238語を、活用する行の未然形ア段に助動詞が接続する形式の「-aられ・-aれられ・-eられ」の三種の語形で簡単検索を行った。検索結果では、1例以上の用例があるものは83語、2例以上の用例があるものは39語であった。2例以上の用例が検索された五段活用動詞を【表1】に示す。

五段活用動詞で用例数が最も多い語は補助動詞「～ておる」・「支払う・もたらす・選ぶ」であり、「出す・払う」がこれに次ぐ。83語の範囲では、用例の総数として「-aられ」107例、「-aれられ」15例であるのに対し、「-eられ」が155例で〈ら入れ言葉〉の例が最も多い。総数では、五段活用動詞未然形のA段音よりも、形式上で未然形をE段音とする可能動詞に助動詞「られる」が接続する例が多いということである。

【表1 五段活用動詞の〈ら入れ言葉〉】

| 番号 | 五段動詞     | -aられ | -eられ | -aれられ | 計  | 番号 | 五段動詞 | -aられ | -eられ | -aれられ | 計 |
|----|----------|------|------|-------|----|----|------|------|------|-------|---|
| 1  | おる(補助動詞) | 16   | 0    | 1     | 17 | 21 | 引く   | 0    | 4    | 0     | 4 |
| 2  | 支払う      | 17   | 0    | 0     | 17 | 22 | なさる  | 0    | 3    | 0     | 3 |
| 3  | もたらす     | 1    | 13   | 0     | 17 | 23 | 焼く   | 0    | 3    | 0     | 3 |
| 4  | 選ぶ       | 6    | 10   | 1     | 17 | 24 | 過ごす  | 0    | 3    | 0     | 3 |
| 5  | 出す       | 1    | 13   | 0     | 14 | 25 | いたす  | 1    | 2    | 0     | 3 |
| 6  | 払う       | 12   | 2    | 0     | 14 | 26 | 繰り返す | 0    | 3    | 0     | 3 |
| 7  | 祈る       | 0    | 11   | 0     | 11 | 27 | 取る   | 0    | 0    | 3     | 3 |
| 8  | 行う       | 5    | 4    | 1     | 10 | 28 | 頂く   | 1    | 2    | 0     | 3 |
| 9  | 無くす      | 0    | 9    | 0     | 9  | 29 | 受け取る | 0    | 3    | 0     | 3 |
| 10 | 話す       | 0    | 8    | 0     | 8  | 30 | やる   | 0    | 3    | 0     | 3 |
| 11 | 返す       | 0    | 6    | 0     | 6  | 31 | 作る   | 2    | 1    | 0     | 3 |
| 12 | 置く       | 4    | 0    | 2     | 6  | 32 | 切る   | 0    | 3    | 0     | 3 |
| 13 | 開く       | 6    | 0    | 0     | 6  | 33 | 打つ   | 1    | 0    | 1     | 2 |
| 14 | 探す       | 0    | 5    | 0     | 5  | 34 | やらす  | 2    | 0    | 0     | 2 |
| 15 | 気に入る     | 0    | 5    | 0     | 5  | 35 | 売り払う | 2    | 0    | 0     | 2 |
| 16 | 使う       | 0    | 3    | 1     | 4  | 36 | 暮らす  | 0    | 2    | 0     | 2 |
| 17 | 行く       | 1    | 2    | 1     | 4  | 37 | 進む   | 2    | 0    | 0     | 2 |
| 18 | 働く       | 1    | 3    | 0     | 4  | 38 | 守る   | 0    | 1    | 1     | 2 |
| 19 | 結ぶ       | 1    | 3    | 0     | 4  | 39 | 打ち出す | 1    | 1    | 0     | 2 |
| 20 | 思う       | 2    | 2    | 0     | 4  |    |      |      |      |       |   |

- (11) 現実にこの経済違反のために、法令違反のために幾人の人が泣いておられると思召すか、幾人の人が苦しんでおると思召すか。(富田照、2 - 衆 - 決算委員会 - 8号 昭和23年05月27日)
- (12) そういうよくないところへ、今ここに軽油税を創設して、あなたの方としては、この結果というものが、運賃を値上げすることに予想を置いておられるのであるか、それとも利益内においてこれが食いとめられる、こういうふうに考えられるであろうか。(横山利秋、24 - 衆 - 大蔵委員会 - 8号 昭和31年02月17日)

- (13) 御存じのごとく、現在は保険の注射なり、あるいは内服薬なり、あるいは手術なりが点数によつて計算され、その算術和が点数の総和として要求されるのであります。これが支拂わられておるのであります。(岡良一、5 - 衆 - 本会議 - 23号 昭和24年04月28日)
- (14) それやこれや思いますと、こういう法律が果して國民の支持はもとより、そこに働いております公務員一般によく納得ができて、そうして今ここに資料に示されておるような公務が、民主的に、及び能率的に運営できる。その狙いが果してもたらせられるという確信が**お**ありになるのかどうでしょうか。(赤松常子、3 - 参 - 人事・労働連合委員会 - 7号 昭和23年11月20日)
- (15) やはり参議院の決算における立場ですね、これがやはり予算にきちつと影響もたらせられる、言つてみれば、参議院の決算があつて初めて予算が作れるというふうな形に、これは法律上も規定を設けられればと、そういうふうに思つております。(山下英利、162 - 参 - 憲法調査会二院制と参議… - 1号 平成17年02月04日)
- (16) 例えば五名候補者を推薦する場合もあるだろうと、たつた一名しか推薦しない場合もある。嫌が應でも反対の方でもその一人の人を選ばなければならない。五人も十人も推薦された場合ならこちらの方で選べられる。(田村文吉、4 - 参 - 労働委員会 - 2号 昭和23年12月07日)
- (17) このたびの二十人以内のこの委員を選ぶに当りまして、民間からも官界からも或いは男性からも或いは女性からも、それこそあらゆる階層から選ばなければ……当然大臣は選ばられると言うかも知れませんが、(矢嶋三義、13 - 参 - 内閣・文部連合委員会 - 1号 昭和27年05月09日)

### 3, 上一段活用動詞

『国会会議録』の簡単検索を用いて、イ段音に「一られれ・一れられ・一られられ」が接続する上一段活用動詞を検索すると、「見る・強いる」の2例のみであった。『国会会議録』での上一段活用動詞の〈ら入れ言葉〉は稀であるといえる。

- (18) 対ソ貿易における西独の着実な伸び、米国の急激な貿易規模の拡大等に対し、わが国の対ソ貿易が相対的に停滞傾向が目立っているのではないかということが数字等をこう見ておりますと、見られられるのでありますが、これに対しまして、どういうわけでこうなつてきておるのであるうか、…(堂森芳夫、72 - 衆 - 外務委員会 - 14号 昭和49年03月27日)
- (19) …我が国の労働者は欧米諸国と比べて格段に長い年間二千二十時間という長時間労働を強いられておる、これが健康にも重大な影響を与えているということが発表されております。(内藤功、104 - 参 - 内閣委員会 - 3号 昭和61年04月15日)

#### 4, 下一段活用動詞

『国会会議録』の簡単検索を用いて、エ段音に接続する「一られれ・一られられ・一れられ」が接続する例が1例以上ある下一段活用動詞を整理すると、【表2】のとおりである。

【表2 下一段活用動詞の〈ら入れ言葉〉】

| 番号 | 五段動詞   | 一られ | 一れられ | 一られられ | 計 | 番号 | 五段動詞  | 一られ | 一れられ | 一られられ | 計 |
|----|--------|-----|------|-------|---|----|-------|-----|------|-------|---|
| 1  | 考える    | 3   | 2    | 3     | 8 | 19 | 見せつける | 0   | 1    | 0     | 1 |
| 2  | 得る     | 3   | 2    | 0     | 5 | 20 | かたづける | 0   | 1    | 0     | 1 |
| 3  | 認める    | 3   | 2    | 0     | 5 | 21 | 出かける  | 0   | 1    | 0     | 1 |
| 4  | 定める    | 3   | 1    | 1     | 5 | 22 | 買い上げる | 0   | 0    | 1     | 1 |
| 5  | 設ける    | 1   | 2    | 1     | 4 | 23 | あげる   | 0   | 0    | 1     | 1 |
| 6  | 取り上げる  | 1   | 2    | 0     | 3 | 24 | 広げる   | 0   | 1    | 0     | 1 |
| 7  | 位置づける  | 0   | 3    | 0     | 3 | 25 | しいたげる | 1   | 0    | 0     | 1 |
| 8  | 押しつける  | 0   | 2    | 0     | 2 | 26 | あてる   | 1   | 0    | 0     | 1 |
| 9  | 立てる    | 0   | 0    | 2     | 2 | 27 | 書きたてる | 0   | 1    | 0     | 1 |
| 10 | 進める    | 0   | 1    | 1     | 2 | 28 | 申し出る  | 0   | 1    | 0     | 1 |
| 11 | 伝える    | 2   | 0    | 0     | 2 | 29 | 委ねる   | 1   | 0    | 0     | 1 |
| 12 | ゆがめる   | 2   | 0    | 0     | 2 | 30 | 食べる   | 0   | 0    | 1     | 1 |
| 13 | 引き下げる  | 0   | 1    | 0     | 1 | 31 | 止める   | 0   | 1    | 0     | 1 |
| 14 | 与える    | 0   | 0    | 1     | 1 | 32 | 決める   | 1   | 0    | 0     | 1 |
| 15 | 加える    | 0   | 1    | 0     | 1 | 33 | せばめる  | 1   | 0    | 0     | 1 |
| 16 | つける    | 0   | 0    | 1     | 1 | 34 | 煎じ詰める | 1   | 0    | 0     | 1 |
| 17 | たたきつける | 1   | 0    | 0     | 1 | 35 | 触れる   | 1   | 0    | 0     | 1 |
| 18 | 押さえつける | 0   | 1    | 0     | 1 | 36 | 離れる   | 0   | 0    | 1     | 1 |

「考える・定める・設ける」は、「一られれ・一れられ・一られられ」の接続例が揃っている。「考える」の例を(20)～(22)に示す。(24)～(26)は尊敬の用法の例である。なお、(26)は調査範囲で最も古い〈ら入れ言葉〉の例である。

- (20) 大体渡辺局長は今そういうような答弁をされたけれども、われわれは、政府が立てたこの資料の権威と同じような権威をやはり税制調査会も持つておつたのではないかと考えられる。(春日一幸、19-衆-大蔵委員会-8号 昭和29年02月17日)
- (21) 昨年度の切りほしの場合におきます原料かんしよの価格というのはその後にくまつたわけでございますので、それが基準になつておるかと思われられます。われわれの考え方としましては、これを基礎にいたしまして一応いろいろ原価計算をいたしたわけでございます。(前谷重夫、18-衆-農林委員会-1号 昭和28年12月01日)
- (22) こういう不熟成の言葉はなるべく基本的人権擁護の立場から、これを削除すべきものじやないかと考えられるのであるが、法務府の御意見はいかがですか。(猪股浩三、13-衆-法務委員会-37号 昭和27年04月19日)
- (23) そういたしまして、その現地検査の結果と従来の検査の結果とを参酌いたしまして、こ

- れならば大體信證が得られるというところで、大部分のものは決算を確定いたしましたのでありますが、…（東谷傳次郎、1 - 参 - 決算委員会第一分科会 - 2号 昭和22年10月07日）
- (24) 日頃の緑風会さんの態度に似ぞう持つて来たことについて、会派として十分の考慮を払われ、又事重大であるという観点から問い質すという点を飽くまで問い質した結果、緑風会としては緊急質問を二度重ねたことについて、その了承を各会派に得られたことについて、緑風会としてもしつかりしたお考えを持つて頂かなければならんと私は希望するのですが、（小笠原二三男、19 - 参 - 議院運営委員会 - 58号 昭和29年05月10日）
- (25) 文部大臣の買上げられられたというものは一つの權威がある。併し文化財保護になると、文化財保護委員会によつて嚴重な選択を要するのだから、一概に全部の買上げを文化財保護委員会にのみお任せするわけには行かん性質のものだと思う。（松原一彦、13 - 参 - 内閣委員会 - 26号 昭和27年05月21日）
- (26) やはりこの李王家の問題については、皇族籍を離れられられたのであるけれども、十分に同情をもつて、宮内府の諸君がいろいろ御相談にあずかるように希望いたします。（本田英作・1 - 衆 - 皇室経済法施行法案特別… - 4号 昭和22年08月26日）

## 5、カ行変格活用動詞およびそのら抜き言葉

『国会会議録』の簡単検索を用いて、カ行変格活用動詞「来る」の未然形「来（こ）」を上接語とする「—られ・—られられ・—れられ」の例を整理すると、【表3】のとおりである。「来る」は補助動詞・複合動詞後項部の例を含む。

【表3 カ行変格活用動詞の〈ら入れ言葉〉】

| カ変動詞未然形 | —られ | —れられ | —られられ | 計 |
|---------|-----|------|-------|---|
| 来（こ）    | 0   | 0    | 8     | 8 |

8例中の7例が尊敬の意味用法で使用されており、可能の意味用法の例は(26)の1例がある。いずれも、ら抜き言葉「来れる」に助動詞「られる」が接続している例である。

- (27) 私たちの目から見ますれば、今度の追加予算というものは、これは今まで政府がとつてこれられた財政及び経済全般の方針に対しての、たとえて申すならば堤に大きな穴を開けられたことになると、私たちは考えております。（塚田十一郎、2 - 衆 - 財政及び金融委員会 - 1号 昭和22年12月11日）
- (28) さらにまた七トン半以上を持っている、しかも東京都内のものが主要なものだという場合に、翌日でなければ、しかも十一時にならなければ出でこれられないということになると、これは商売にならぬと思うのですがね。（大倉精一、40 - 参 - 運輸委員会 - 16号 昭和37年03月22日）

## 6, サ行変格活用動詞

現代日本語のサ行変格活用動詞「する」の未然形には「さ・し・せ」の三形がある。『国会会議録』の簡単検索を用いて、サ行変格活用動詞未然形を上接語とする「―られ・―られれ・―られられ・―れられれ」を検索した。この場合、本動詞としてのサ行変格活用動詞のほか、サ行変格活用複合動詞も含まれる。ただし、非ア段音の未然形「せ」に助動詞「られ」が接続する場合は、規範的な用法の「せられる」との区別が困難であるため、検索の対象外とした。検索したサ行変格活用動詞の〈ら入れ言葉〉の用例数を整理すると、【表4】のとおりである。

【表4 サ行変格活用動詞の〈ら入れ言葉〉】

| サ変動詞未然形 | ―られ | ―られれ | ―られられ | ―れられれ | 計  |
|---------|-----|------|-------|-------|----|
| さ       | 31  | 1    | 0     | 14    | 46 |
| し       | 3   | 0    | 0     | 0     | 3  |
| せ       | —   | 6    | 1     | 3     | 10 |

『国会会議録』の簡単検索によると、サ行変格活用動詞の「さられ」は31件の用例が抽出される。このうち漢語サ変動詞は21例あり、その語幹は「達・課・開始・緩和・選任・拘禁・出版・軽視・公表・抑留・実施・改正・付託・發揮・提出・展開・使用・計画・実施・強化・採択」（出現順）である。用例の(29)に漢語サ変動詞の例を示す。(30)(31)はサ行変格活用動詞の本動詞の例であるが、いずれも、サ変動詞の未然形「さ」に助動詞「られる」が接続しており、規範文法から逸脱した例としての「さられる」、または、文語的な「せられる」との混淆例と考えられる。(31)は「曝(さら)される」の誤りである可能性もある。(32)は受身の意味の「しられる」であるが、ここでは西部方言と共起している。

- (29) しかるところ一方におきまして、現地調査につきましては、會期切迫の折から議事進行に支障を來さないようにという趣旨の申合せも、議會運営委員會において採擇さられておるやうに承つておりますので、…（荒木萬壽夫、1 - 衆 - 国土計画委員会 - 24号 昭和22年11月14日）
- (30) 四十八億ドルで押えられるかどうかかわからないという議論をさられておった輸入も、四十八億ドル以下で押えられて、双方の尻で二億六、七千万ドルの赤字を予定しておったものが、少なくとも一億ドル以上、これは差は縮まるだろう、…（田中角栄、41 - 参 - 大蔵委員会 - 6号 昭和37年08月30日）
- (31) 問題は、これらの職員の待遇なるものが、この定員法に基づくものではないという関係で、不当に不利益をこうむっている、しかも身分も不安定な状態に常にさられているという状態は、法律の裏をくぐった脱法行為を行なっていると言っても私は過言でないという立場から、…（千葉信、34 - 参 - 法務委員会 - 11号 昭和35年03月30日）
- (32) まあ男はともかくとして女の子なんかもたないのじゃないかと思うのです。毎日泣いて



いるそうです。うちへ帰って泣く。そうすると親たちは、そないまでしられて働く必要ないじゃないか、こういう状態が起こっているということで、それは労働委員会は私もおりましたから知っておりますが、労働省等が介入すべきではありません。(田中武夫、59 - 衆 - 決算委員会 - 6号 昭和43年10月01日)

(33) のような「されられる」と「させられる」の混淆例もみられる。サ変動詞を上接語とする使役受身表現として規範的な言い方は「さ+せ+られる」であるが、受身表現の「される」と、使役表現の「させる」とが混淆して、「さ+れ+られる」となっている。また、(34) は、文語的・規範的に「せ+られる」とすべきところを「さ+られる」として、助動詞「れる・られる」に接続するサ変動詞の未然形「せ」と「さ」とが混乱している例である。鳥田 (2019) に指摘されるように、現代日本語での使役受身表現がセラレル形式からサレル形式へ移行する過程にあるとともに、意味用法上の混乱が認められる。

(33) 各農地委員会から作物報告所に移轉されられた元の農地委員会の専任書記の諸君は、その場合には結局地域の関係、交通の不便等の理由によつて、事実上は奉職することができなくなつた。(玉井祐吉、衆 人事委員会 10号 昭和23年11月25日)

(34) 私より趣旨を御説明申し上げます。今回商工省令によつて電力制限がいよいよ強化されることとなりました。(櫻内義雄、1 - 衆 - 電気委員会 - 18号 昭和22年12月08日)

## 7、〈ら入れ言葉〉の意味用法

『国会会議録』にある〈ら入れ言葉〉が、受身・可能・尊敬のいずれの意味で使用されているかについて調査した。調査範囲の五段活用動詞・下一段活用動詞・カ行変格活用動詞と、サ行変格活用動詞未然形三種の「—a られ・—e られ・—a れられ／—れられ・—らられ・—られられ」の語形を含む例文中での意味用法を整理したものが【表5】である。〈ら入れ言葉〉全体としては、可能の意味のみならず、受身・尊敬の用法すべてにわたつての使用例が確認できる。「—a られ」は受身の用法が多く、「—e られ」は可能の用法が多い。「—e られ」では受身と尊敬の用法の数が拮抗しており、国会という改まった場面での尊敬の用法の使用例が顕著である。

【表5 〈ら入れ言葉〉の意味用法】

|       | —a られ |    |    | —e られ |     |    | —a れられ |    |    |
|-------|-------|----|----|-------|-----|----|--------|----|----|
|       | 受身    | 可能 | 尊敬 | 受身    | 可能  | 尊敬 | 受身     | 可能 | 尊敬 |
| 五段動詞  | 62    | 5  | 40 | 24    | 95  | 36 | 9      | 2  | 4  |
| 上一段動詞 | 1     | 0  | 0  | 0     | 0   | 0  | 0      | 1  | 0  |
| 下一段動詞 | 16    | 8  | 2  | 17    | 7   | 3  | 5      | 8  | 1  |
| カ変動詞  | 0     | 0  | 0  | 0     | 1   | 7  | 0      | 0  | 0  |
| 計     | 79    | 13 | 42 | 41    | 103 | 46 | 14     | 11 | 5  |

| サ変動詞未然形 | —られ |    |    | —られれ |    |    | —られられ |    |    | —れられ |    |    |
|---------|-----|----|----|------|----|----|-------|----|----|------|----|----|
|         | 受身  | 可能 | 尊敬 | 受身   | 可能 | 尊敬 | 受身    | 可能 | 尊敬 | 受身   | 可能 | 尊敬 |
| さ       | 26  | 0  | 5  | 1    | 0  | 0  | 0     | 0  | 0  | 6    | 6  | 2  |
| し       | 2   | 0  | 1  | 0    | 0  | 0  | 0     | 0  | 0  | 0    | 0  | 0  |
| せ       | 0   | 0  | 0  | 2    | 0  | 4  | 0     | 0  | 1  | 0    | 1  | 2  |
| 計       | 28  | 0  | 6  | 3    | 0  | 4  | 0     | 0  | 1  | 6    | 7  | 4  |

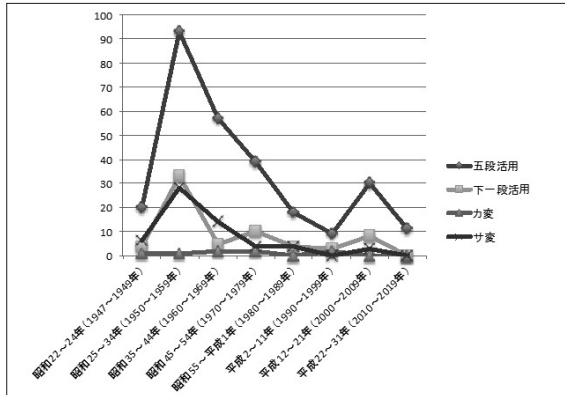
## 8、〈ら入れ言葉〉の用例数の推移

『国会会議録』の〈ら入れ言葉〉の用例数の推移を、第1回～第7回国会（昭和22～24年）の3年間で西暦の年代をそろえるための例外として、10年代ごとに整理すると【図2】のとおりである。<sup>(8)</sup>〈ら入れ言葉〉が検索される実数が最も多いのは、昭和25～34年（1950～1959年）の範囲であり、その後、平成12～21年（2000～2009年）にも増加の傾向がみられる。

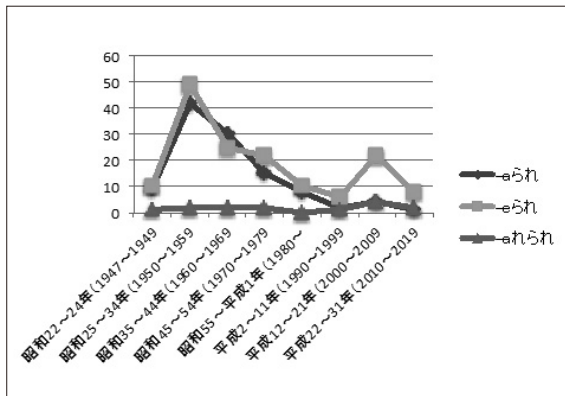
【図3】は、五段活用動詞に限定して「—aられ・—eられ・—aられれ」の形態別にその用例数の推移を形態別に示したものである。【図3】をみると、昭和25～34年と、平成12～21年とでは〈ら入れ言葉〉の性格が異なるようである。昭和25～34年の〈ら入れ言葉〉には、改まった場面での助動詞「れる・られる」の規範的な使用を意識することによって、未然形ア段音に「ら・られ」を過剰に介入させる傾向があったのではないかと考えられる。

例を挙げると、昭和27年の用例（17）では、「それこそあらゆる階層から選ばれなければ……当然大臣は選ばれると言うかも知れませんが」と「選ばれる」と「選ばれる」とが近接して使用されている。「選ばれる」は受身の意味であるが、文脈からみて「選ばれる」には動作主体である大臣に対する尊敬の意味用法が加えられている。

これに対して、平成12～21年の〈ら入れ言葉〉では、五段活用動詞のア段型未然形の使用が衰えてエ段型の「—eられ」が増加している。エ段型の未然形、すなわち下一段型活用（可能動詞）に「られる」が接続する〈ら入れ言葉〉であると考えられる。つまり、昭和23年の用例（14）の「もたらせられる」は、文語的な「～せられる」に「ら」が過剰使用された例であるが、平成17年の用例（15）の「もたらせられる」は、可能動詞「もたらせる」に「られる」が接続した〈ら入れ言葉〉であり、それぞれ性格が異なるものと考えられる。



【図2 くらし言葉】の活用種類別使用数推移



【図3 くらし言葉】の形態別使用数推移

## 9. くらし言葉】の使用者の出身地

『国会会議録』において、くらし言葉】の使用がみられる発言者のうち、出身地（または、最初に当選した選挙区）が確認できたものを都道府県別に整理し、くらし言葉】のべ使用数で4例までであるものを示したものが【表6】である。備考欄には、複数のくらし言葉】使用例がある発言者氏名をその回数とともに示した。のべ数において東部方言の地域がやや優勢ではあるが、西部方言・九州方言に対して顕著な差は見られない。<sup>(9)</sup>

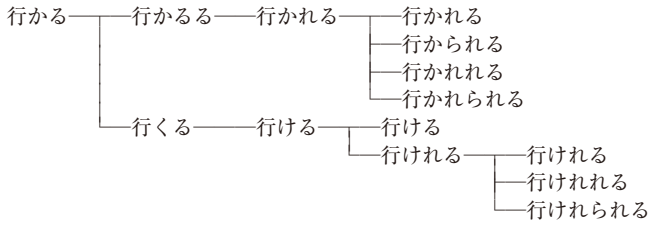
【表6 都道府県別〈ら入れ言葉〉使用数】

| 順位 | 出身地等 | 用例数<br>(のべ数) | 発言者数<br>(異なり数) | 備考               |
|----|------|--------------|----------------|------------------|
| 1  | 東京都  | 17           | 13             | 山谷えり子 5回         |
| 2  | 北海道  | 14           | 14             |                  |
| 3  | 愛知県  | 12           | 9              | 横山利秋 3回、吉田萬次 3回  |
| 4  | 大分県  | 11           | 11             |                  |
| 5  | 神奈川県 | 11           | 6              | 田沢智治 4回、石原伸晃 2回  |
| 6  | 福岡県  | 10           | 9              | 吉村剛太郎 2回         |
| 7  | 長野県  | 8            | 8              |                  |
| 8  | 新潟県  | 8            | 6              | 小山伸次郎 2回、田中角栄 2回 |
| 9  | 京都府  | 7            | 6              | 天坊裕彦 2回          |
| 10 | 兵庫県  | 7            | 7              |                  |
| 11 | 広島県  | 7            | 7              |                  |
| 12 | 秋田県  | 6            | 5              | 石田博英 2回          |
| 13 | 三重県  | 6            | 5              | 若林義孝 2回          |
| 14 | 群馬県  | 5            | 5              |                  |
| 15 | 高知県  | 5            | 5              |                  |
| 16 | 奈良県  | 5            | 5              |                  |
| 17 | 青森県  | 4            | 4              |                  |
| 18 | 茨城県  | 4            | 3              | 赤城宗徳 2回          |
| 19 | 埼玉県  | 4            | 3              | 山崎清 2回           |
| 20 | 鳥根県  | 4            | 3              | 近藤英明 2回          |
| 21 | 栃木県  | 4            | 4              |                  |
| 22 | 福井県  | 4            | 4              |                  |
| 23 | 山梨県  | 4            | 3              | 平林太一 2回          |

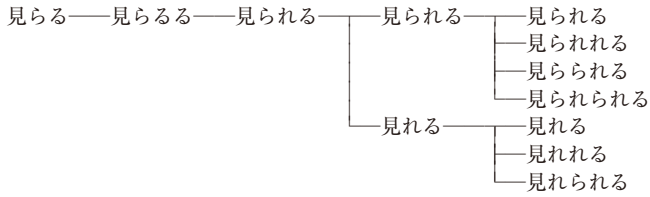
## 10. 〈ら入れ言葉〉の発生の系譜—ら抜き言葉・〈れる言葉〉とともに—

浅川（2016.2017.2018）の調査結果と、本稿における調査結果とを併せ、現代日本語のテキスト上に観察される規範的な助動詞型・ら抜き言葉・〈れる言葉〉・〈ら入れ言葉〉を動詞の活用（五段活用・上一段活用・下一段活用・カ行変格活用・サ行変格活用）に任意の文節で整理してみると、【図4】～【図8】のとおりである。【図4】～【図8】にある語形は、『国会会議録』のほか、『ウェブコーパス』などにおいて、すべて実例として存在する。

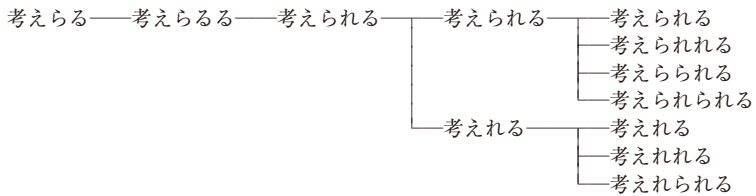
〈ら入れ言葉〉は、規範的な助動詞型・ら抜き言葉・〈れる言葉〉のいずれにも発生している。〈ら入れ言葉〉の発生の原因は「られる」の過剰使用にあるとみられるが、現代日本語において動詞未然形に助動詞「れる・られる」が過剰に接続する形態は多岐にわたり、日本語運用の実態は、規範的な文法からかけ離れたものとなっている。



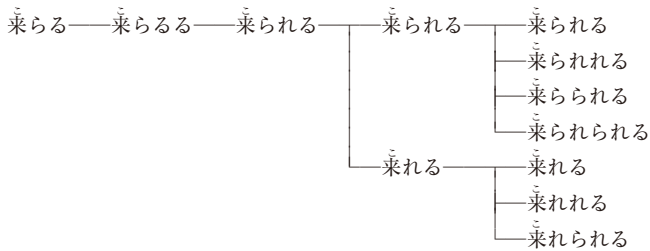
【図4 四段活用動詞】



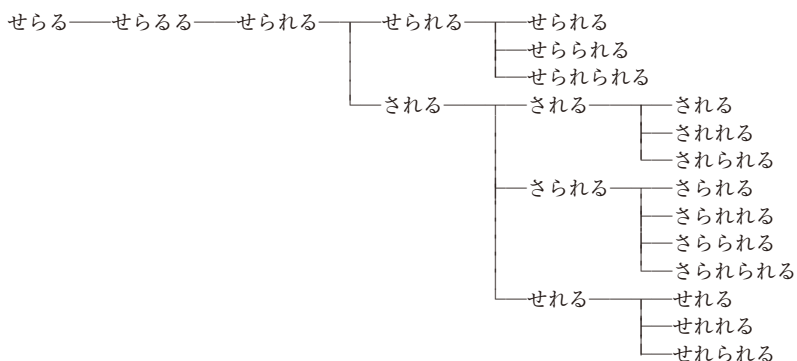
【図5 上一段活用動詞】



【図6 下一段活用動詞】



【図7 カ行変格活用動詞】



【図8 サ行変格活用動詞】

おわりに

〈ら入れ言葉〉について、『国会会議録』を資料として調査したところ、昭和22年（1947年）の第1回国会の時期から〈ら入れ言葉〉が使用されていることが確認された。また、『国会会議録』の〈ら入れ言葉〉はすべての動詞の活用の種類にその例があり、受身・可能・尊敬の意味用法で使用されている。『国会会議録』では、1950年代の〈ら入れ言葉〉の使用数が最も多い。1950年代の五段活用動詞の〈ら入れ言葉〉が、改まった場面における規範的なア段型未然形への助動詞「れる・られる」の過剰な接続ではないかとみられるのに対し、2000年代の〈ら入れ言葉〉はエ段型未然形への助動詞「れる・られる」の過剰な接続であるという傾向がみられる。

【注】

- (1) 規範的な助動詞接続型は、五段活用動詞・サ変動詞の未然形（語尾がア段音）＋助動詞「れる」と、上一段・下一段（下一段型活用の助動詞「(さ)せる」を含む）・カ変動詞・サ変動詞の未然形（語尾が非ア段音）＋助動詞「られる」である。可能動詞は五段活用動詞の下一段化、ら抜き言葉は上一段・下一段・カ変動詞の未然形（語尾が非ア段音）＋助動詞「れる」である。れ足す言葉は可能動詞＋「れる」である。〈れるる言葉〉とは、規範的な助動詞接続型・可能動詞・ら抜き言葉に「れる・れるる」が過剰に接続した形式をいう（浅川2016）。
- (2) 〈ら入れ言葉〉とは、動詞・助動詞の未然形に「れる・られる」が規範的な文法とは異なる接続をしたり、「れる・られる」が二語以上連続して接続したりするなど、外形上で〈ら〉が過剰に接続しているように見える表現形式を総括的に表わすものである。『ウェブコーパス』で検索された〈ら入れ言葉〉の用例の形態は極めて多岐にわたり、五段活用動詞・上一段活用動詞・下一段活用動詞・カ行変格活用動詞・サ行変格活用動詞のいずれの動詞においても「られる・られる・られる」などが接続する例がみられる（浅川2018）。

- (3) 『国語研日本語ウェブコーパス』は、ウェブを母集団として100億語規模を目標として構築した日本語コーパスである。2014年10月～12月に収集されたデータによるという（ホームページでの概要説明に拠る）。

<http://bonten.ninjal.ac.jp/?ticket=ST-7825-vXblycNIrNmWhAbgt7z5-chunagon.ninjal.ac.jp>

- (4) 『国会会議録検索システム』 [http://kokkai.ndl.go.jp/cgi-bin/KENSAKU/swk\\_logout.cgi?SESSION=53901](http://kokkai.ndl.go.jp/cgi-bin/KENSAKU/swk_logout.cgi?SESSION=53901)

- (5) 松田謙次郎編(2008)『国会会議録を使った日本語研究』ひつじ書房

- (6) 参議院は平成20年（2008年）1月から審議をモニターに中継し、担当職員が音声と映像を見ながらパソコンで入力する仕組みに変更した。衆議院では平成23年（2011年）4月に音声を自動的に文字化する「音声認識システム」を導入した。現在では両院とも手書き方式は、本会議や予算委員会など速報性が求められる会議に限られている（産経新聞・2013.6.20）。

- (7) (Ⅱ)にあたる例としては次例が挙げられる。簡易検索で検索された下線部「おるれる」を国会会議録原本のPDFで確認すると「おるれる」のとおりであった。発言者の言い間違いの活字化でなければ、これは「おられる」の誤植であると考えられる。

○私はその点について多少意見があつて申し上げて来たのでありますが、これが取締り強化の具体的な方針、それから中毒患者の防止対策について厚生大臣としてどういうことを考えておられるか。この二点をお聞きしたい。（青野武一、18 衆 予算委員会 2号 昭和28年12月03日）

- (8) 昭和22～24年（1947～1949年）は3年間の区分である。昭和25～34年（1950～1959年）、昭和35～44年（1960～1969年）、昭和45～54年（1970～1979年）、昭和55～平成1年（1980～1989年）、平成2～11年（1990～1999年）、平成12～21年（2000～2009年）、平成22～31年（2010～2019年）は10年間ごとに区分した。

- (9) 【表6】中に項目として示していないが、〈ら入れ言葉〉の使用者には、社会党など、野党に所属する発言者が目立つ。

#### 【参考文献】

浅川哲也（2011）『知らなかった！日本語の歴史』東京書籍

———（2016）「ら抜き言葉と〈れるる言葉〉と可能動詞にみられる自発・受身・尊敬の用法について—振られるのもいやだし・いじめられる子供・女性にことわれ続け—」『言語の研究』第2号

———（2017）「ら抜き言葉と〈れるる言葉〉の拡大—日本語母語話者の〈誤用〉問題—」『文学・語学』第221号

———（2018）「〈ら入れ言葉〉の使用実態とら抜き言葉との関係について—永遠に見られる・名前と呼ばられる・さらっと食べられる—」『言語の研究』第4号

———（2019）「そのテキストに信頼性はあるのか—書き間違い・打ち間違い・意図的改変—」

『人文学報』（首都大学東京）第515-7号

浅川哲也・竹部歩美（2014）『歴史的变化から理解する現代日本語文法』おうふう

庵 功雄（2003）「ら抜きことば」（『やさしい日本語のしくみ』くろしお出版）

市川保子（2005）「誤用研究」（『新版日本語教育事典』大修館書店）

金水 敏（2003）「ら抜き言葉の歴史的研究」『月刊言語』32-04

佐藤武義（2007）「可能・自発の助動詞」（飛田良文・遠藤好英・加藤正信・佐藤武義編『日本語学研究事典』明治書院）

渋谷勝己（2018）「可能」『日本語学大辞典』東京堂出版

島田泰子（2014）「〈何事かをなし得た人〉に見る、言語変化の一兆候—補助動詞〈～得る〉の意味変化—」『近現代日本語における新語・新用法の研究』国立国語研究所共同研究報告13-03  
———（2019）「日本語の受身使役表現における変格の一端：〈よみがえらせられる〉型から〈よみがえらされる〉型への移行をめぐって」『言語文化研究』第18号、静岡県立大学短期大学部・静岡言語文化学会

杉戸清樹（2018）「現代の日本語」『日本語学大辞典』東京堂出版

田中章夫（2018）「位相」『日本語学大辞典』東京堂出版

田中ゆかり（2014）「ら抜きことば」（佐藤武義・前田富祺編集代表『日本語大事典（下）』朝倉書店）

松田謙次郎（2012）「日本語の攻防【文法】ら抜き言葉」『日本語学』31-15

宮田公治（2009）「ら抜き言葉の展開（発生から定着へ）」（中山緑朗・飯田晴巳・陳力衛・木村義之・木村一編『みんなの日本語事典—言葉の疑問・不思議に答える—』明治書院）

## 【付記】

本稿の内容の一部を「国会会議録にみられる〈ら入れ言葉〉の使用実態について」という題目で、日本語学会2019年度春季大会（甲南大学、2019年5月18日）において口頭発表した。口頭発表の席上で御発言と御質問を下さった方々に御礼を申し上げる。

なお、本稿は2019年度科学研究費助成事業・学術研究助成基金助成金（基盤研究（C））による研究課題「日本語の先端的な動向と日本語母語話者の誤用問題に関する通時の研究」（課題番号19K00347）の研究成果の一部である。

（あさかわ てつや・首都大学東京）